

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	情報メディア総合演習（Exercises in Media Technologies）		
ナンバリングコード	P31501	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル 総合演習
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P180851	クラス名	-
担当教員名	濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、吉森 聖貴、福島 学、小島 康史、松		
履修上の注意、 履修条件	3年前期までに開講される情報メディア学科の必修科目、各コースのコース必修科目を全て修得済みであることが望ましい。 卒業研究に着手するために必要となる基礎知識・スキルを修得する演習科目です。自ら学ぶことを心がけ、積極的に取り組んでください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	「理科系の作文技術」 中公新書(¥700 1981) 「はじめての技術報告書」 工学社(¥1、900 2008)		
関連科目	研究ゼミナールA、研究ゼミナールB、卒業研究		

○基本情報		
授業の目的	本科目は卒業研究に必要なとなる、卒業論文の書き方、研究計画の立て方、研究テーマの決め方等について演習形式で修得することを目的とした科目です。	
授業の概要	本科目は集中講義科目です。卒業研究に必要なとなる、卒業論文の書き方、研究計画の立て方、研究テーマの決め方には共通する形式があります。本科目では、研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、研究ゼミナールBで学修する内容を技術報告書の形にまとめていく演習を通して、卒業研究を遂行するために必要とされる知識・スキルを修得していきます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	各クラス毎に実務経験のある教員が担当し、教員自身のキャリアや業務経験を踏まえ、講義を実施します。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	主体性をもって技術報告書の作成に取り組む。			15点
【知識・理解】				
【技能・表現・コミュニケーション】	研究ゼミナールBで学修した内容を技術報告書の形にまとめることができる。		85点	
【思考・判断・創造】				

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
毎回提出を求める課題(技術報告書)については適宜、授業中に講評を行い、最終成果物として提出された技術報告書を次の評価基準で採点し、合計を85点に換算して評価を行います。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題への取り組みを無形成果として15点満点で評価します。

○その他
本シラバスは、学科教員共通の事項として提示しています。 所属するコース、ゼミナールにより 実施内容評価方法等が異なります。 ゼミナールBの各担任より、初回の実施回などで詳細は通知します。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	情報メディア総合演習（Exercises in Media Technologies）	授業コード	P180851
	担当教員	濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、吉森 聖貴、福島 学、小島		
学修内容				
1. ガイダンス、技術報告書の書き方、卒業研究の方法（合同授業） この科目の目的、到達目標、学修内容、学修方法（受講心得）、成績評価方法について説明します。研究ゼミナールBで学修する内容を技術報告書の形でまとめる方法について解説します。				
予習				
復習 技術報告書の書き方、卒業研究の方法のまとめ				
2. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
3. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
4. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
5. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
6. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
7. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
8. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				

○授業計画	科 目 名	情報メディア総合演習（Exercises in Media Technologies）	授業コード	P180851
	担当教員	濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、坂井 美穂、足立 元、吉森 聖貴、福島 学、小島		
学修内容				
9. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
10. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
11. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
12. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
13. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
14. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 研究ゼミナールBの担当教員の指導を受けながら、技術報告書を作成していきます。				
予習 技術報告書の作成				
復習 技術報告書の推敲				
15. 技術報告書の作成演習（研究室単位での授業） 最終的な技術報告書を完成させ、提出します。				
予習 技術報告書の完成・提出				
復習				
16.				
予習				
復習				